

表紙の解説



石灰岩地のビワ

現在実施中の石灰岩地総合調査 (p.3 参照) の中で、暖温帯に位置する石灰岩地 (越生町) から、県内初記録となるビワの群落が確認されました。

ビワ *Eriobotrya japonica* は中国西南部原産とされるバラ科の常緑の果樹であり、暖かい地域を中心に各地で栽培されています。一方、大分県、山口県、福井県など西日本の石灰岩地には、実の小さい野生状のビワが生育することが知られており、これがもともと日本にあったものなのか、あるいは栽培品が逃げ出したものなのか、研究者の間でも議論がありました。最近の研究では、葉のDNAを使った比較の結果、石灰岩地のビワは栽培品や中国のビワとは遺伝的に明確に区別できることが分かっています。

今回発見されたビワも実が小さく、形態的には西日本の石灰岩地のビワと類似しています。石灰岩地でのビワ群落の発見は、県内はもとより、関東地方でも初めてのことです。ビワ以外に、埼玉県新産で国内分布の北限と考えられるリュウキュウマメガキ *Diospyros japonica* も見つかっており、重要な暖温帯性石灰岩地植物群落であるといえます。

撮影・解説 須田 大樹

催し物のお知らせ (10月~3月)

展 示

	タイトル	期 間	内 容
特別展示	現代有用植物展 ~くらしと植物のステキな関係~	9月24日(土)~1月15日(日)	昔から様々な形で利用された植物が、現代のくらしの中でどのような形で利用されているかを紹介。
企画展示	骨と皮 ~からだを支えるいろんなひみつ~	2月4日(土)~6月中旬	生きものの体を支える骨と皮。生きものによってどんな形があり、どんな役割をもっているかを紹介。
季節展示	本多静六生誕150年	9月13日(火)~1月15日(日)	生誕150年を記念し、業績やゆかりの地を紹介。
	空飛ぶ夜の動物	1月31日(火)~6月中旬	ムササビなど、夜に空を飛ぶ動物を写真で紹介。

開館時間 9:00~16:30 (休日を除く月曜休館)

イベント

	タイトル	日 時	場 所	参加費	対象・定員など
観察会	国天然記念物古秩父湾をめぐる	10月29日(土) 10:00~16:00	集合・解散 博物館	3,900円 (バス代込)	小学生以上 30名
	地学散歩 in 吉見百穴	11月5日(土) 10:00~15:00	吉見百穴 (吉見町)	300円 +入園料	小学生以上 30名
	和紙漉き体験と里山の自然観察	11月26日(土) 10:00~15:00	埼玉伝統工芸会館 (小川町)	1,280円 (紙漉代込)	小学生以上 30名
	空飛ぶ座布団 ムササビを見よう	12月24日(土) 16:00~18:30	博物館	300円	小学生以上 30名
自然史講座	葉脈標本をつくってみよう	12月17日(土) 10:00~12:00	博物館 科学教室	500円	小学生以上 30名
	動物のフンストラップをつくらう	1月14日(土) 10:00~12:00	博物館 科学教室	500円	小学生以上 30名
	鉱物図鑑づくり	2月25日(土) 10:00~15:00	博物館 科学教室	500円	小学生以上 30名
	化石のレプリカづくり	3月4日(土) 10:00~15:00	博物館 科学教室	500円	小学生以上 30名
アドバンスド講座	古脊椎動物学入門	2月18日(土) 10:00~15:00	博物館 科学教室	300円	高校生以上 16名
その他のイベント	県民の日記念イベント	11月14日(月) 10:00~16:00	博物館 科学教室等	無料	どなたでも 定員なし
	学芸員研究発表会 自然の博物館セミナー	12月10日(土) 10:30~15:30	飯能市市民活動 センター	無料	どなたでも 100名

※ 観察会、自然史講座、アドバンスド講座は事前に申し込みが必要です。詳しくはお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。



埼玉県のマスコット「コバトン」

埼玉県立自然の博物館ニュースレター 瀬 第27号 平成28年9月23日 発行

編集発行 埼玉県立自然の博物館 〒369-1305 埼玉県秩父郡長瀬町長瀬 1417-1

TEL 0494-66-0404 (総務担当) 0407 (学芸担当) FAX 0494-69-1002

URL <http://www.shizen.spec.ed.jp/> E-mail t660404@pref.saitama.lg.jp

